

新型コロナウイルス感染症の予防に関する注意事項 (第26回福岡県障がい者水泳記録会)

(一社)福岡県障がい者スポーツ協会

本記録会開催にあたり、新型コロナウイルス感染症の予防のため、参加者は、下記の項目を遵守すること。

1 入館前

- (1) 入館前2週間において、以下の事項に該当する場合は、入館を見合わせることに。
 - ・平熱を超える発熱
 - ・咳(せき)、のどの痛みなどの風邪の症状
 - ・だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - ・嗅覚や味覚の異常・体が重たく感じる、疲れやすい等の症状
 - ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) 「体調チェックシート」に必要事項を記入し、持参すること。
- (3) 水泳用具・飲食物・ストレッチマット等は、専用の物を用意し共用しないこと。
- (4) 会場までの交通機関内で、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話などに留意すること。
- (5) 厚生労働省から提供を受けている、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCoA)や、各地域で取り組まれている通知サービスを活用できるよう準備する。COCoAを入れている場合は、電源をONにした上でBluetoothを有効にすること。

2 館内(水泳場、体育館、更衣室等)

- (1) 入館から退館時までの全ての場面で、人との距離(2m以上)をとって行動すること。(障がい者の誘導や介助を行う場合を除く)
- (2) 練習時に、各レーン内で待機する場合、スタート練習で並ぶ場合も、2m以上の距離を保つこと。
- (3) 人との距離・座席間の距離を保つこと。
- (4) 泳ぐとき以外はマスクを着用すること。(更衣室・待機場所・プールサイド・トイレなど)
- (5) レース前にはずしたマスクは、袋に入れること。(マスクは、選手イス・脱衣ボックスに直接置かない)
- (6) レース後は、速やかにマスクを着用すること。
- (7) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。

- (8) 選手は、招集所での選手間の会話、レース後の選手間の会話を控えること。
- (9) 大きな声での会話や応援をしないこと。コーチは、練習時の大きな声での指示、ホイッスルの使用を控えること。レース・練習後のマスクをしていない選手との会話では、マスクに加えフェイスシールド、またはアイガード・ゴーグルを着用し、眼からの飛沫感染も防ぐこと。
- (10) 唾や痰を吐くことは極力行わないこと。
- (11) 飲食については、指定場所以外で行わないこと。
- (12) ドリンクの回し飲みはしないこと。
- (13) ごみは、持ち帰ること。
- (14) 選手は、自分のレース終了後、なるべく速やかに退館すること。
- (15) 記録会主催者・施設管理者が決めたその他の措置・指示について従うこと。

3 退館後

- (1) ミーティング・懇親会等は控えること。
- (2) 退館後2週間以内に「新型コロナウイルス感染症を発症した」場合は、事務局に対して、濃厚接触者の有無等について報告すること。

参考：(公財) 日本水泳連盟「水泳競技会の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」
(2021年3月16日改訂)